

Program

狂言と能のお話し  
能楽囃子レクチャー  
お能紙芝居「船弁慶」  
狂言「柿山伏」  
能「船弁慶」

日本全国 能楽キャラバン!

# 特別能公演 三曲豆

日時: 2023 **8/11** **金** 13:15開場  
14:00開演

場所: **マリンウェーブ マーガレットホール**

香川県三豊市詫間町詫間1338-127  
TEL0875-56-5111

一般: 3,000円  
小・中・高校生: 1,000円  
(当日券 各500円増)  
全席自由席(幼児の入場はご遠慮ください。)

※チケットの払い戻しはいたしません。

チケット販売(前売券)

LINE ▼ 6月1日発売開始



マリンウェーブ TEL0875-56-5111

ローソンチケット Lコード: 61697

チケットぴあ Pコード: 519529

お問い合わせ: 喜多流大島能楽堂 TEL・FAX 084-923-2633 [www.noh-oshima.com](http://www.noh-oshima.com)

## 瀬戸内×能楽×映像

写真: 鈴木心

主催: (有) 榎木端 公益社団法人能楽協会  
後援: 三豊市

助成:  文化庁  
Agency for Cultural Affairs  
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金  
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))  
独立行政法人日本芸術文化振興会





大島 輝久

能楽師シテ方喜多流職分



大島 衣恵

能楽師シテ方喜多流



久田 舜一郎

能楽師小鼓方大倉流



有松 遼一

能楽師ワキ方高安流



茂山 逸平

能楽師狂言方大蔵流

Program

- 狂言と能のお話し シテ方・大島輝久と狂言方・茂山逸平が楽しいトークで能狂言を解説します
- 能楽囃子レクチャー 能の楽器、囃子について実演を交えてのお話 会場の皆さんも掛け声など一緒に体験してみましょう
- お能紙芝居「船弁慶」 謡(能のウタ)と笛の演奏を織り交ぜながら、船弁慶の物語を紙芝居で紹介します

■ 狂言「柿山伏」

シテ 茂山逸平  
アド 丸山やすし

■ 能「船弁慶」

前シテ(静御前)	大島衣恵	笛 斎藤敦	小鼓 久田舜一郎	大鼓 守家由訓	太鼓 中田一葉				
後シテ(平知盛の亡霊)	大島輝久	地謡 大島政允	出雲康雅	長島茂	金子敬一郎	佐々木多門	塩津圭介	谷友矩	高林昌司
ツレ(源義経)	大島伊織	後見 狩野了一	佐藤陽						
ワキ(弁慶)	有松遼一								
ワキツレ	岡 充	写真 鈴木心							

かき やま ぶし  
狂言「柿山伏」

出羽の羽黒山の山伏が大峰、葛城で修行して帰る途中、お腹がすいたため、道端の柿の木に登って無断で柿を食べているところへ、畑主が見回りにやってきます。それを見つけて腹を立てた畑主は、木のかげに隠れた山伏をからかってやろうと、わざと「あれは鳥だ」「猿だ」と声に出します。正体がばれないように山伏は、そのたびに鳴き声を真似しますが……  
狂言とは便利なもので、何でも有るつもりで演技をします。そのつもりでの演技が十分に発揮されている狂言の一つです。

ふな べん けい  
能「船弁慶」

前半：平家滅亡に功績をあげた源義経でしたが、兄の頼朝の怒りを買って鎌倉方から追われる身となり、弁慶や忠実な従者と共に西国に逃れることとなりました。同行していた静は再会を願って舞い、涙にくれて見送ります。  
後半：出港した義経一行の船は突然の暴風雨に見舞われます。平家一門の平知盛の怨霊が現れ、なぎなたを振りかざして襲い掛かります。  
前半の優美な舞と後半の荒々しい舞働の対照的な構成で、謡や囃子の強弱、緩急も変化に富んだ劇的な曲目です。



映像

通常、能舞台の正面奥には老松が描かれた鏡板がありますが、三豊公演では、その鏡板の代わりに縦3メートル×横8メートルの巨大なLEDパネルの映像装置(LEDウォール)を配し、能の世界観を高画質の映像コンテンツで演出します。

鈴木心 Profile

写真家。1980年福島生。東京工芸大学芸術学部写真学科卒業。アマナに勤務後フリーランスとして活動。広告・雑誌等の写真や映像作品の撮影を数多く手がける。2011年より鈴木心写真館始動。同時期から学校や企業で写真のワークショップも開催し、現在はオンラインスクール 鈴木心写真学校を主宰。写真館、YouTube、書籍にいたるまで、「共育」をテーマに写真でできること全てを実行する。